

来月の消費予報

新年度や新しい季節を迎え、 消費意欲指数は今年初の前年比プラスに

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

4月の消費意欲指数は46.4点。前月比+1.3ポイント、前年比+0.6ポイントとほぼ横ばいながら、1月から続いていた前年割れを脱却しました。

4月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

+1.3 ポイント

+0.6 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下落

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★UP：前月比/前年比で20人以上増加 ●DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

4月のポイント

Point 1：新年度や季節の変わり目で、季節消費への意欲が高まっている

1月以降、消費意欲指数は前年割れが続いていましたが、4月はわずかながらも前年比プラスとなり、明るさがみえています。消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「新生活・新年度の準備」、「季節の変わり目なので」といった季節消費への意欲が高まっています。なお、この時期の季節消費への意欲の件数は増加傾向が続いており、2018年は過去最多となりました(2015年4月133件→2016年4月155件→2017年4月187件→2018年4月221件)。

特に買いたいモノ・利用したいサービスを見ても、「化粧品」、「ファッション」、「装飾品」、「外食」、「食品」などが前年比で20件以上増えており、ここにも新年度や新しい季節に向けた消費意欲の高まりが感じられます。

Point 2：春の到来で、男性の節約意識が緩む気配

このところ低調が続いてきた男性の消費意欲がようやく回復し、1月と同レベルの消費意欲指数(44.6点、前月比+3.0ポイント、前年比+1.5ポイント)となりました。

消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、「新生活・新年度の準備」は、前年に比べて特に男性で増えています(2017年4月16件→2018年39件)。また、「金銭的な理由によるセーブ、買い控え」も男性で減っており(2017年4月151件→2018年121件)、男性の節約意識が緩む気配がみえてきました。

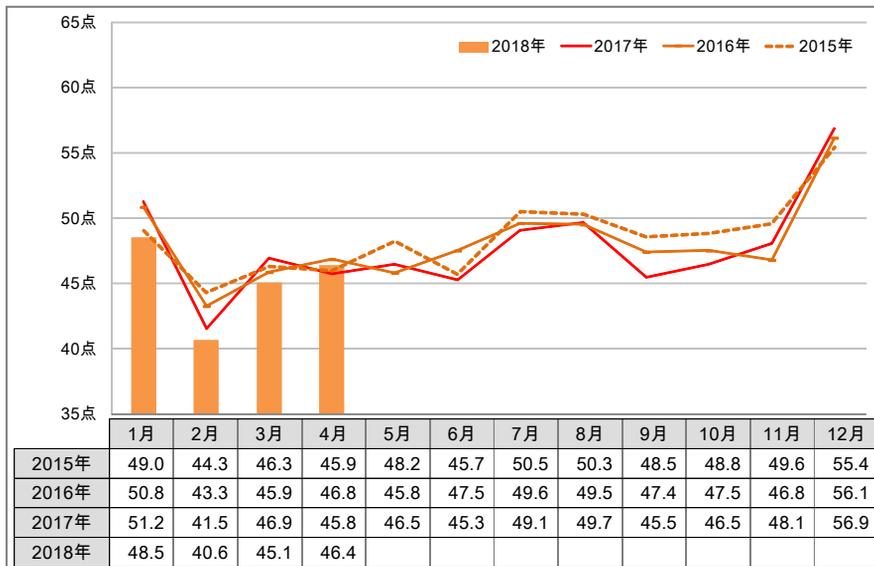
一方、女性の消費意欲指数は前年と同水準ですが、消費意欲指数の理由(自由回答)では、「春だから購買意欲アップ」や「季節・気候的に外出、買い物機会が増えそう」という声が多く上がっており、春への期待は女性においても高まっているようです。

消費意欲指数

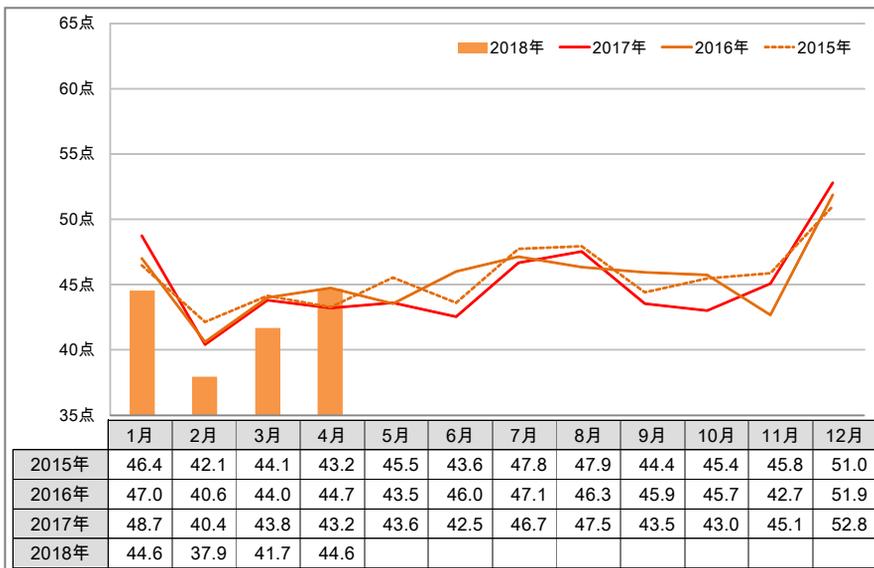
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

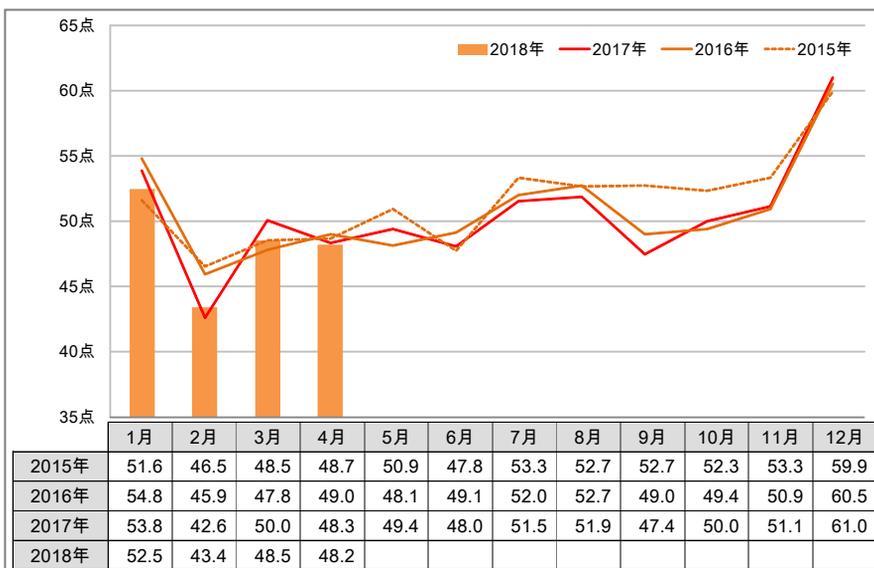
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【新生活・新年度の準備/春だから】>

- ・年度始めで色々買いたくなるから(80点・男性20歳・大阪府)
- ・春から職場が変わるので、身の回りのスーツ類など一通り買い換えたい(80点・男性37歳・大阪府)
- ・新年度になるので、新調したいものが増えるから(65点・男性40歳・東京都)
- ・新年度が始まるため、出費は避けられないし、花見旅行などにも行きたい。スマホの買い替えも検討している(70点・男性57歳・愛知県)
- ・季節的に消費意欲が高まる(90点・男性69歳・岐阜県)
- ・新年度に向けて春服や雑貨を買いたい。また一人暮らしを考慮しているため(80点・女性23歳・兵庫県)
- ・子供が幼稚園入園なので、そのためのものをいろいろ買い揃えたいし、新年度だからか新しいものが欲しくなるから(85点・女性35歳・大阪府)
- ・春、新しい始まりという季節の変わり目の時期には、衣類、化粧品、雑貨が欲しくなる。暖かくなると、プラッと出かけやすい(80点・女性42歳・埼玉県)
- ・春になり物入りとなるから。気分転換や交際関係で出費増加が見込まれる(70点・女性56歳・神奈川県)
- ・抑えたいが、孫が小学校や幼稚園に入るため、祝いものに使ってしまいそう(90点・女性63歳・愛知県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2018年4月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	27.7	+3.0	+2.5
男性	26.9	+5.5	+4.3
女性	28.4	+0.4	+0.6

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(415人)

参考:男性(202人)

参考:女性(213人)

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	234	+25	+28
2	外食	163	- 2	+28
3	食品	159	+18	+34
4	旅行	156	+13	+15
5	レジャー	114	+17	+17
6	飲料	108	+ 7	+18
6	書籍・エンタメ	108	+ 7	+13
8	理美容	104	+14	+19
9	化粧品	102	+10	+22
10	家電・AV	100	+ 1	- 4
11	日用品	88	+20	+13
12	装飾品	87	+21	+28
13	インテリア用品	81	+ 6	+12
14	パソコン・タブレット・周辺機器	65	+ 5	+11
15	スマートフォン・携帯電話	50	+ 6	+12
16	車・バイク	40	- 5	±0

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	91	+25	+16
2	旅行	85	+28	+18
3	外食	83	+24	+24
4	食品	72	+24	+18
5	書籍・エンタメ	63	+17	+13
6	レジャー	54	+15	+ 8
7	家電・AV	53	+ 2	-12
8	飲料	52	+12	+ 7
9	パソコン・タブレット・周辺機器	41	+ 2	+ 3
10	装飾品	36	+14	+ 8
11	日用品	33	+13	+ 2
12	スマートフォン・携帯電話	32	+ 7	+ 7
13	車・バイク	27	- 8	- 7
13	インテリア用品	27	+ 4	+ 2
15	理美容	25	+ 8	+ 7
16	化粧品	6	±0	- 4

順位	カテゴリー	4月(人数)	前月比	前年比
1	ファッション	143	±0	+12
2	化粧品	96	+10	+26
3	食品	87	- 6	+16
4	外食	80	-26	+ 4
5	理美容	79	+ 6	+12
6	旅行	71	-15	- 3
7	レジャー	60	+ 2	+ 9
8	飲料	56	- 5	+11
9	日用品	55	+ 7	+11
10	インテリア用品	54	+ 2	+10
11	装飾品	51	+ 7	+20
12	家電・AV	47	- 1	+ 8
13	書籍・エンタメ	45	-10	±0
14	パソコン・タブレット・周辺機器	24	+ 3	+ 8
15	スマートフォン・携帯電話	18	- 1	+ 5
16	車・バイク	13	+ 3	+ 7

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

<全体にのみ下記基準で色付け>

■ : 前月比/前年比で20人以上増加

■ : 前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	150	189	140	148	751
女性	121	147	185	138	158	749
合計	245	297	374	278	306	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2018年3月1日(木)～5日(月)(2012年4月から調査開始/毎月月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2018-04/>)からダウンロードしていただけます